

仙台の 次世代経営者 presence 対談



(株)清月記専務取締役
菅原 啓太氏

すがわら・けいた
1988年仙台市生まれ。中央大学経済学部卒業。(株)清月記専務取締役。2021年1月1日より仙台青年会議所理事長。2022年1月1日より日本青年会議所総務委員長。趣味は旅行。

連載
第7回

仙台、日本を拠点に、国内ばかりではなく、世界市場を見据えながら事業を開拓している次代を担う若手経営者に、活力ある仙台の経済活動や人材育成の在り方、そしてこれから時代を生き抜くために必要な価値観や視点を、(株)清月記の菅原啓太専務が聞きます。

「次の仙台」をどう創るか——経済力、人材育成···



(株)キープレイヤーズ 高野 秀敏 氏

石巻みなど斎場 清月記 グランドオープン

あらゆるご葬儀に対応いたします。
是非、施設をご見学ください。

法要専門式場 石巻みなど斎場 清月記 年回忌法要・供養承ります

石巻みなど斎場 清月記

と光る地域にしたいのです。事業を進める上で、雇用の在り方は非常に重要ですね。

高野 企業の役員、社員、顧問、社外取締役、業務委託を含めたビジネスパートナーはとても大切です。このヒューマンキャピタルをマックスにどうアレンジメントしていくか、どのような人を仲間に入れて、企業を成長させていくかです。

自動車メーカーのスズキが、五輪マラソン金メダリストで日本オリエンピック委員会理事などを務める高橋

が、どのようないい人材、企業を増やしていくかです。

高橋 仙台や東北地方でもそのような人材、企業を増やしていくます。

菅原 高野さんの実父は、JA仙台の代表理事組合長として、東日本大震災後の仙台の農業復興に多大な貢献をされてきました。農業分野に行こうとは思わなかつたんですか。

高野 小学生の時、農業をやるしかないかと思つていましたが、中学生になり、農業だけでやれる時代ではないなと考へました。農業だけでは、両親からは、将来のことは自分で考えて決めろと言われたんです。

当時の岩切中は大変やんちゃな生徒が多かつたんですね。合唱コンクールや運動会もできない感じで。そんな中で校長先生が音楽の方で「音楽をやろう!」と。こんな荒れている学校でできるわけないだろと思つてました。が、校長先生は誰より

も真剣でした。仙台市内のホールで合唱をやつたんです。その考え方には驚き、大きな影響を受けました。

菅原 2005年に、キープレイヤーズを東京で設立されました。それまでの経緯は。

高野 企業の組織、人事などのHR(Human Resources)に興味があり、大学の卒論にインターンシップを取り上げました。当時、日本でいち早く始めたリクルートでインターンシップをやつたことがキッカケで、第2のリクルートを目指していだ当時のインテリジェンスに、面接をお願いしました。リクルートでインターンシップをやつたと言えば、必ず会つてくれると思つたんです。

菅原 具体的にはどのようなビジネスを展開していますか。

尚子さんを社外取締役に起用したことが話題になつていますが、稼げる人は個人、法人問わず考へていくことです。私のオンラインサロンには、国内、世界中問わず200人がいて、キャリアについてさまざまな議論と勉強をしています。

高野 スタートアップ、ベンチャー向けのHRビジネスで、人材紹介業とグループでペイキャリアと

スタートアップ向けの 人材紹介

いう求人メディアも持っています。また、企業の経営顧問や役員、ベンチャー支援、マーケティング、上場コンサルにも携わっています。

菅原 まさに、これから日本をけん引する企業を創出する、最先端の仕事ですね。

高野 清月記さんも、葬祭業から飲食、宿泊まで幅広いですね。

菅原 お客様の人生をより豊かにするためをテーマに、さまざま事業を開拓しています。「その分野の一流を知りたければ、仙台に行け」と言われるような、魅力的でキラツ

て進化します。



【(株)キープレイヤーズ】本社・東京都港区赤坂。独立系キャリアコンサルタント会社。エンジニア投資を日本国内、シリコンバレー、バンガローディッシュで実行する。高野秀敏氏は、『セカンド就職のススメ』(講談社)、『絶対に後悔しない就職先の選び方—親子で戦う就職最前线』(スタジオセロ)、『転職して「成功する人」と「後悔する人」の習慣』(明日香出版社)などの著書がある。(東京・新丸の内ビル)